

市長の政治姿勢について

まちづくり総合プランについては多くの指摘がされているが、この総合プランの中には、このプランが第4次基本計画の検討資料となることあるが、いまだに見直しがされていない総合プランをどのように基本計画に反映させるのか。また、緊急行動計画では基本計画を実現するところがあるが、財政再建中に実現できるのか。

市民会議にまちづくり総合プラン及び緊急行動計画を説明し、市の現状を把握いただいた上で策定作業を進めてきた。当然財政も見据えながら基本計画に反映している。基本計画の各事業実施に当たり、財源の必要なものもあり、財政をしっかりと見極めた上で計画を立てていく。

池座 俊子

市民の力をまちづくりにいかす計画の進行管理にも市民参加を

①狛江市次世代育成支援行動計画は計画づくりに参加したメンバーも含め、当事者、市民も進行管理できる仕組みを②東野川、猪方・前原学童保育所で平日午前中の開放が試行される。指導員が育児不安に耳を傾け、支援できるよう研修が必要。また乳幼児と保護者だけの場にするのではなく、地域の人々が気軽に参加できる運営を。

①庁内検討組織と、市民には広報等で進捗状況はPRしチェック。②専門家や現

場の経験豊富な方たちの意見を聞く。対象は在宅でお子様を見ている方たちも含む子育て協力者も歓迎する。

市民福祉推進委員会について諮問され特別委員を含む作業委員会で検討される。①保育園の課題は、②さまざまな立場の多くの市民が参加して議論できるよう課題を整理し、スケジュールや議論の場を工夫すべきだが、③保育の質を明らかにしていくためにも市内認可保育園の第三者評価を行うべき。

①待機児等の保育需要や保育ニーズの対応と子育て拠点としての機能充実②時点時点で関係者、保護者、広く市民へという形に。③第三者評価の必要性はある。財政的なこともあり何かよい方法がないか考

大場 てる子

子どもが健やかに育つまち―虐待防止について―

児童虐待の悲惨な事件が後を絶たない①改正児童福祉法による児童相談所の虐待に関する業務が市におりた、具体的にはどうなるのか②先駆型子供家庭支援センターの機能と③次世代育成行動計画にある児童虐待防止ネットワークの機能は④責任の所在は⑤子ども施策はすべて子どもの人権優先で行うべきと思うがいかがか。

児童虐待の悲惨な事件が後を絶たない①改正児童福祉法による児童相談所の虐待に関する業務が市におりた、具体的にはどうなるのか②先駆型子供家庭支援センターの機能と③次世代育成行動計画にある児童虐待防止ネットワークの機能は④責任の所在は⑤子ども施策はすべて子どもの人権優先で行うべきと思うがいかがか。

野川の清流 豊かな自然を後世に

野川は湧水を源流とし多様な動植物が観察できる。①市民の貴重な財産である。②市が昨年立ち上げた「野川環境向上実行委員会」の取り組みは③今後学校との連携をさらに進めることを望む④降雨時の未処理汚水の野川への流入抑制策の一つとして、雨水浸透マスの普及を進め子ども達が川に入って遊べる環境づくりを望むが。

野川の河川環境向上のために市民、学校、事業者、地域団体の参加により美化清掃活動を行う。②学校との関係は今回の試みに対する意見を参考に実行委員会の中で決定していく。③市では未処理下水を放流している野川などの環境保全のために合流式下水道緊急改善計画を策定し、改善工事を実施していく。

正木 きよし

市の指定業者の選定、入札、随意契約、見積もり合わせ等について

指定業者の選定、入札、随意契約、見積もり合わせ等について、いろいろ問題があるので、見直し改定をすべきと考えるがどうか。先日の談合報道について市はどのような対応をとったのか。

昨年12月から入札参加資格申請が電子サービスに移行した。4月1日からは発注予定の公表等入札情報サービスを実施。電子入札に関しては市内業者や小規模事業者の問題を検討中。談合には「談合情報に係わる事務対応マニュアル」で対応。

中学校給食の早期実施について中間報告を求める

前議会に引き続いて、中学校給食の早期実施に向けて、どこまで進んだのか、中間報告を求める。

実施方式をスクールランチ方式とし、弁当の部分先行して4校一斉に実施する。デッサンの段階だが弁当給食は平成20年を目途に実施していく。本格実施は全校一斉とはいかないが、弁当給食の実施と並行して順次各校に食堂とサテライトキッチンを設置して、計画的に実施していく。そのための具体的検討を行っている。

市長の平成17年度所信表明と平成17年度予算とのかわりについて

所信表明で述べていることが平成17年度予算にきちんと反映しているか。また数値目標についてきちんと達成できるのか伺う。

所信表明は予算の説明が中心だが、1年間の市政運営の進め方についても述べているので、平成17年度予算の主な事業並びに新年度に予定している施策等については、予算に盛り込まれていないものもある。目標達成には十分努力をしていく。

保護者の育児応援について

自転車の補助椅子に乗せられた乳幼児のけがが急増している。「いわゆるママチャリ」乳幼児ヘルメットの着用を推進する都の事業に狛江市も賛同し協力をするのか。乳幼児ヘルメットが購入しやすいように自転車屋に置いてもらうなど仕組みを考え、自転車の乗り方、乗せ方などを保護者に指導する機会をつくるべきだが。

啓発的なチラシ等が市にも配布されると思う。自転車店への協力や保育園などでの掲出を含め積極的に取り組む。

清水 信之

肉を切るなら骨を切れ

①人事給与改革の行程表を出せ。職員福利厚生補助金、勤労報償費をカットせよ。労使交渉議事録を公開せよ。不正口利き防止要綱を進めよ②旧二小解体工事で談合情報があった。工事内訳書提出を義務づけよ。指名競争入札廃止など入札改革を進めよ③統廃合など消防団改革を進めよ。委員数など農業委員会改革を進めよ。

①職務給化と昇任制度を導入した。今後勤務評価、人材育成基本方針の見直し等新たな制度を組み立てる。福利厚生事業のあり方等見直ししていく。

希望をセットせよ

①希望が示されなければ改革とは言えない、矢野ブランドに寄りかかっている場合ではない、被害者論でない三位一体改革への取り組み姿勢を伺う。②前全国知事会長は「地方自治体自らの改革努力と競争が日本を変える」「分権阻害型の自治体もある」と言っている。分権改革の阻害物を拒否し「改革派」の大同につくのか。

①地方団体は一致をして、地方自治権の拡充の方向に向けた努力をしていく一つの好機として取り組むべきである。②「改革派」のイメージはいろいろあるが、国の下請け機能的な地方自治体であってはならない。国は国、地方は地方としてのすみ分けをつくり、広げていくということであれば改革派に入れてもらってもいい。

会派の結成

平成17年5月2日付で新たな会派が結成されました。

民主党・市民自治

代表者 鶴留美紀

正木きよし 清水信之

